

新潟市新津斎場 指定管理事業報告書

平成 30 年度 実施内容

事業計画内容	実施内容
地域・地域経済への貢献	新津斎場を考える会の供養会及び会合へ参加しました。 物品購入先は地元を優先して行いました。
個人情報保護のための方策	昨年度に続き、業務で使用した書類はシュレッダー処理を行いました。PC にはパスワード保護及びセキュリティー対策を実施。
職員研修及び育成の方法	新潟県責任者ミーティング（月 1 回）を実施し指定管理手法など情報共有しました。北信越地区エリアでの責任者ミーティング（年 1 回）を実施し、広範囲での情報共有を実施しました。 県外斎場からの研修者受入を行いました。
職員配置の考え方	経験者を責任者として配置し、管理指導を行いました。欠員時の応援体制強化のため、他斎場と相互研修を行いました。
職員の雇用・労働条件	雇用条件等に変更はありません。 管理部による個人面談を実施しました。
施設管理の方策	計画に従い業務を行いました。 祭壇に写真立てを設置しました。
要望や苦情に対する対応	利用者アンケートを場内設置のほか、ハガキによる回答収集を行い、4 月から 3 月までに 279 通の返信を頂きました。
災害に対する対応	消防訓練、避難訓練を実施、新潟市白根斎場と合同で AED 取扱研修を実施しました。
事故防止と発生時の対応	マニュアルをもとに本社管理部からの指導及び、所内ミーティングにより事故防止研修を行いました。
経費縮減の具体的な取り組み方法	節電、節水を心掛け、こまめな電源 OFF などを行いました。
斎場業務に関する基本的な考え方	アンケートや利用者からの要望・指摘事項を踏まえ、わかりやすく丁寧な対応になるようマニュアルの改訂を行いました。
利用者平等利用の確保	利用者の案内方法など、お年寄りにもわかりやすく丁寧な方法を話し合い、実行しました。
利用者への配慮の基本的な考え方と取り組み方法	館内、館外の清掃を行い清潔感に配慮した運営を行いました。 アンケート以外にも利用者に直接声かけを行い、要望事項の収集に努めました。